

(06273197) 株式会社ダスキン 様 2023年度版(2022年度実績分) 健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2020～2022年度のデータに基づいて作成しています。

貴事業所の業態

対個人サービス業

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

- 「特定健診」：特定健康診査 / 「業態」：事業所における業態(43分類) / 「全事業所」：特定健診の対象となる被保険者数50名以上の事業所 / 「所属保険者」：被保険者数50名未満の事業所も含めて算出する所属保険者の被保険者の平均 / 「所属保険者の全事業所平均」：事業所レポート作成対象(特定健診の対象となる被保険者数50名以上)の事業所のみで算出する平均

【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、事業主単位の健康スコアリングレポート活用の手引き「(参考)各指標の算出方法」(参考)事業主単位の健康スコアリングレポートにおける判定基準値表をご参照ください。

■判定基準値(全事業所平均を100とした場合)



■判定基準値(貴事業所の基準年度実績を100とした場合)



貴事業所の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

総合判定

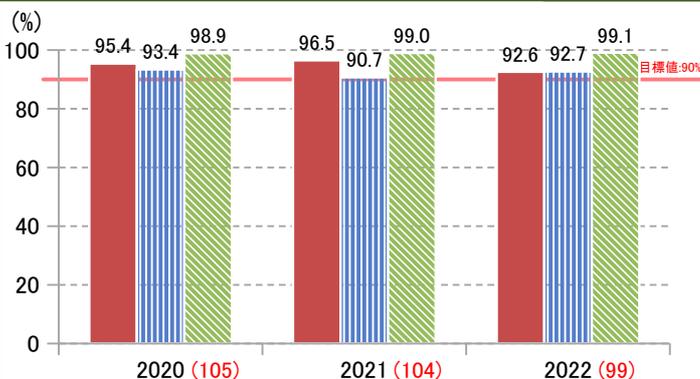


業態別順位

32位 / 138事業所

特定健診の実施率

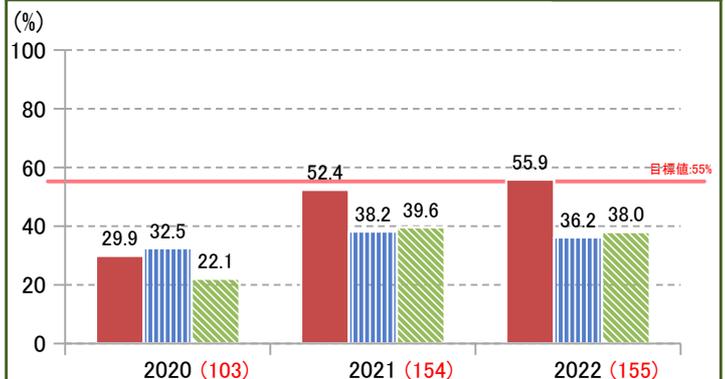
1ランクUPまで(*1) あと35人



特定健診の実施率	2020	2021	2022
貴事業所	95.4%	96.5%	92.6%
	50位 / 125	43位 / 126	72位 / 139
業態平均	93.4%	90.7%	92.7%
所属保険者	98.9%	99.0%	99.1%

特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1) 最上位です

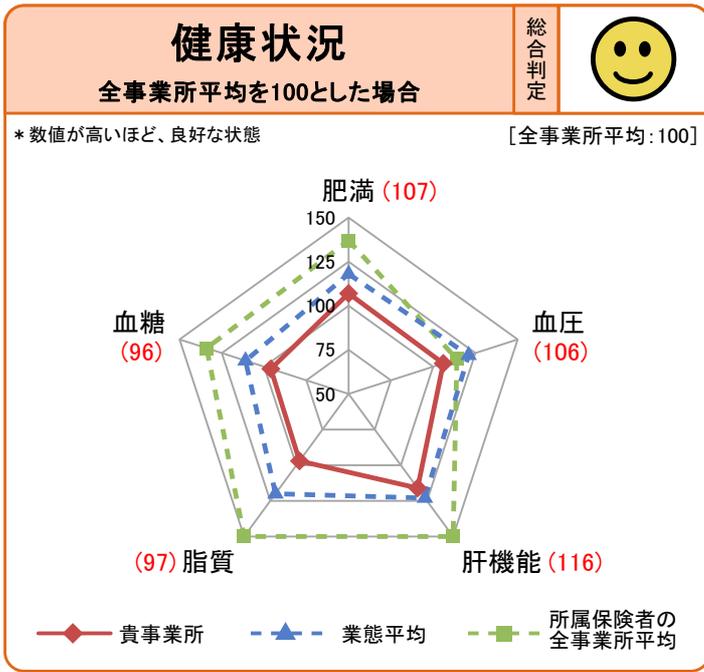


特定保健指導の実施率	2020	2021	2022
貴事業所	29.9%	52.4%	55.9%
	43位 / 125	32位 / 126	31位 / 138
業態平均	32.5%	38.2%	36.2%
所属保険者	22.1%	39.6%	38.0%

※ 目標値は、第3期(2018～2023年度)特定健康診査等実施計画期間における所属する保険者の種別目標。
 ※ 順位は、業態ごとに事業所のスコアの高い順にランキング。
 ※ ()内の数値は、全事業所平均を100とした際の貴事業所の相対値。
 ※ なお、被扶養者(家族)を含む加入者全体の目標である。
 ※ (*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載

■ 貴事業所 ■ 業態平均 ■ 所属保険者

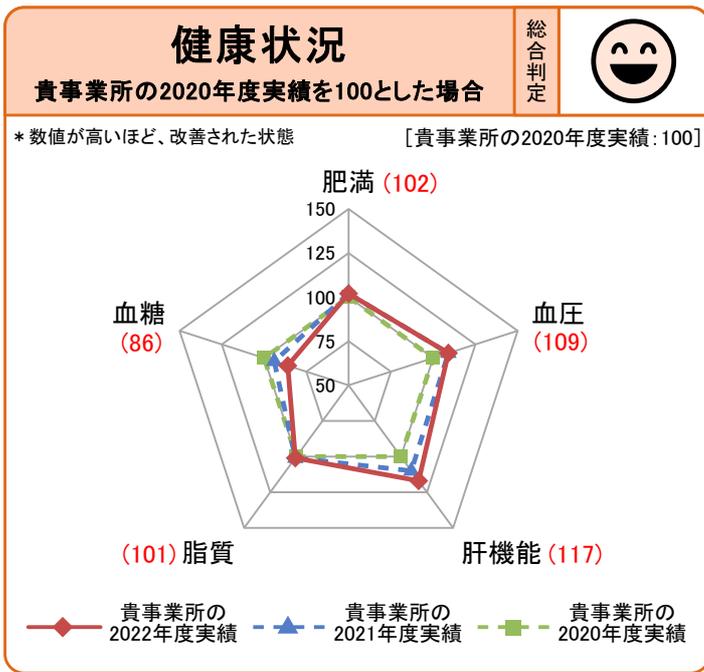
貴事業所の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)



※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化

項目	健康状況	2020	2021	2022	判定
		肥満	106	107	
血圧	貴事業所	99	106	106	
	業態平均	119	118	121	
肝機能	貴事業所	107	113	116	
	業態平均	118	120	123	
脂質	貴事業所	106	100	97	
	業態平均	117	118	120	
血糖	貴事業所	110	103	96	
	業態平均	113	113	111	



健康状況の経年変化

項目	健康状況	2020	2021	2022	判定
		肥満	100	102	
血圧	貴事業所	100	109	109	
肝機能	貴事業所	100	110	117	
脂質	貴事業所	100	101	101	
血糖	貴事業所	100	94	86	

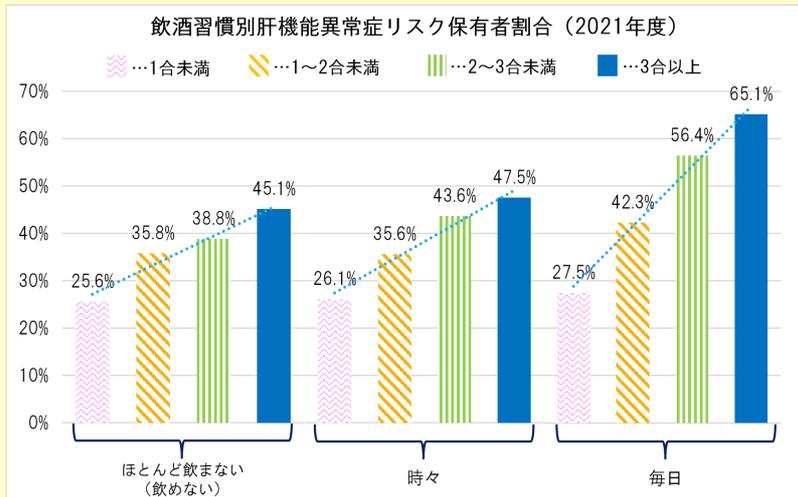
【コラム】適度な飲酒で健康な肝臓を！

飲酒習慣別に肝機能異常症のリスク保有者割合をみると、1回の飲酒量が「1合未満」では、肝機能異常症のリスク保有者割合は飲酒頻度によらずほぼ同程度です。

しかしながら、飲酒頻度が同じ場合、1回の飲酒量が多いほど肝機能異常症のリスク保有者割合は高くなり、1回の飲酒量が「1合未満」から「3合以上」に増加すると肝機能異常症のリスク保有者割合は「ほとんど飲まない」「時々」では約1.8倍に、「毎日」では約2.4倍に上昇します。

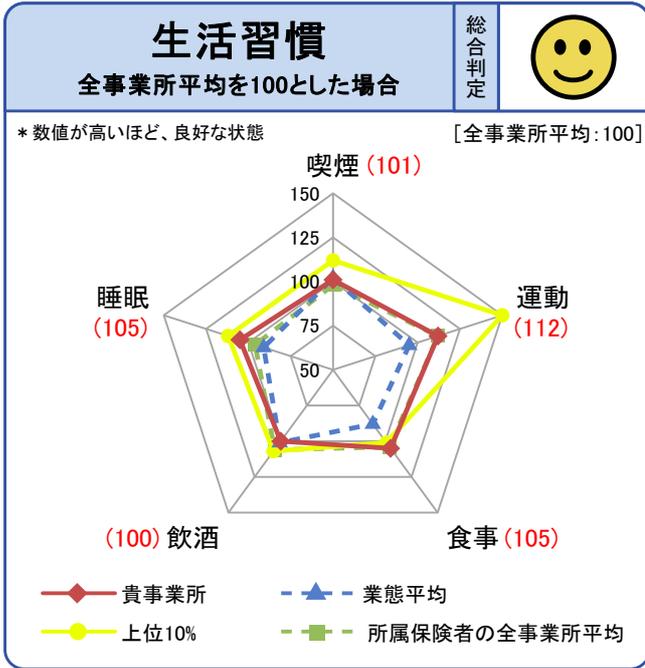
健康な肝臓を保つために、休肝日を作る、飲む量を1合減らす等、適度な飲酒習慣を心掛けるよう促しましょう。

※ 飲酒状況に関する質問票の全てに回答がある者のみを対象に算出
 ※ 2022年度報告(2021年度実績)データより算出
 ※ 肝機能異常症のリスク保有者…AST 31U/L以上、ALT 31U/L以上、
 γ-GTP 51U/L以上のいずれかに該当する者
 (健康スコアリングレポートと同一の定義)



貴事業所の生活状況(適正な生活習慣を有する者の割合)

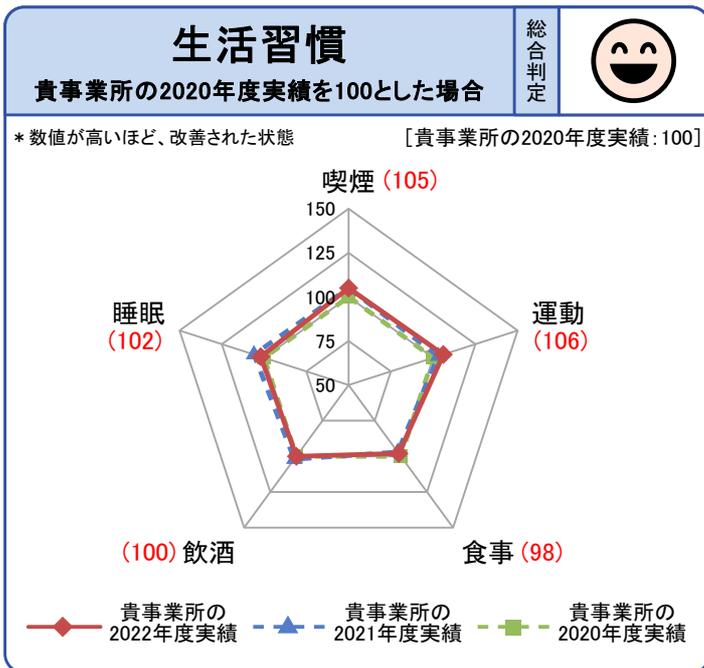
※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、事業所が保有しているデータのみで構成。



※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	ランクUPまで (*)	
喫煙	貴事業所	98	102	101		あと13人
	業態平均	103	102	102		
	上位10%	117	111	112		
運動	貴事業所	113	113	112		あと34人
	業態平均	96	99	95		
	上位10%	132	151	152		
食事	貴事業所	105	103	105		あと8人
	業態平均	92	91	88		
	上位10%	117	109	101		
飲酒	貴事業所	101	102	100		あと13人
	業態平均	101	101	101		
	上位10%	106	104	107		
睡眠	貴事業所	100	107	105		あと54人
	業態平均	95	97	91		
	上位10%	112	109	112		

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」が上位10%に入る事業所の各項目の平均値を表す。ただし、業態内の事業所数が20以下の場合には、全事業所の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
(*) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。

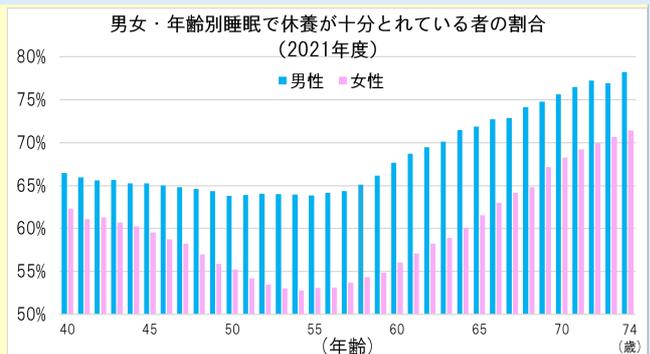


生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	
喫煙	貴事業所	100	105	105	
運動	貴事業所	100	103	106	
食事	貴事業所	100	97	98	
飲酒	貴事業所	100	102	100	
睡眠	貴事業所	100	106	102	

【コラム】生活習慣を見直し、睡眠で休養を十分とりましょう！

特定健診の睡眠に関する質問の結果を男女・年齢別にみると、40代から50代半ばにかけて睡眠で休養が十分とれている者の割合が低下しています。特に女性ではその傾向が顕著に表れており、その低下の程度が大きくなっています。少しでも良い睡眠習慣を身につけられるように、睡眠環境や生活習慣を可能な範囲で見直すように促しましょう。

※睡眠に関する質問票の回答がある被保険者のみを対象に算出
 ※2022年度報告(2021年度実績)データより算出
 ※睡眠で休養が十分とれている者の割合…特定健診の睡眠に関する質問「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者の数/特定健診の睡眠に関する質問に回答した者の数



(注)【本レポートにおけるデータ対象】
 ・特定健診(健康状況・生活習慣)：40歳～74歳の被保険者。
 ・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。
 健康状況・生活習慣は、対象となる被保険者数50名未満の場合「×」を表示。

健康スコアリングレポート

2023年度版

(2022年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省
